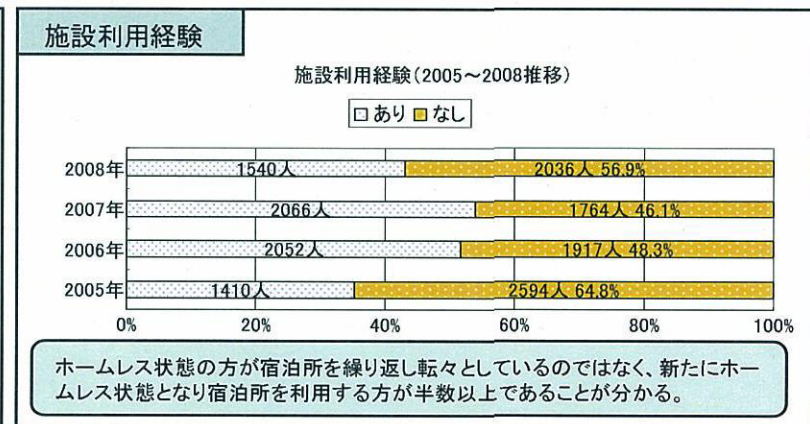
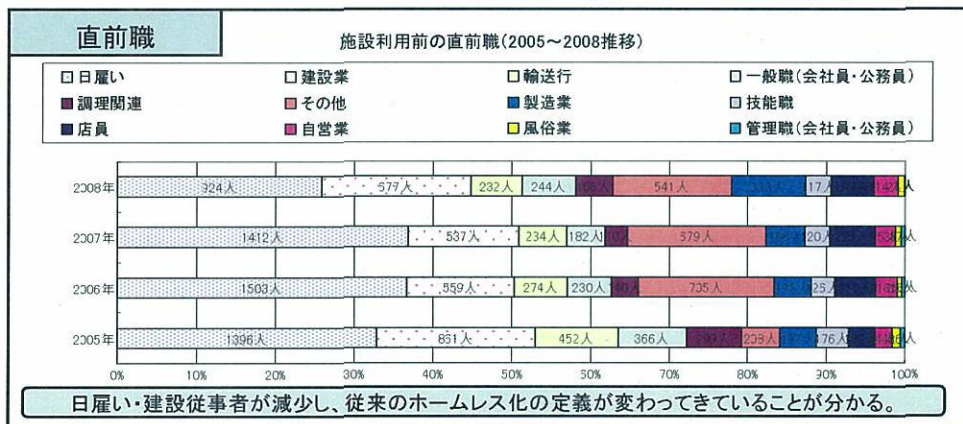
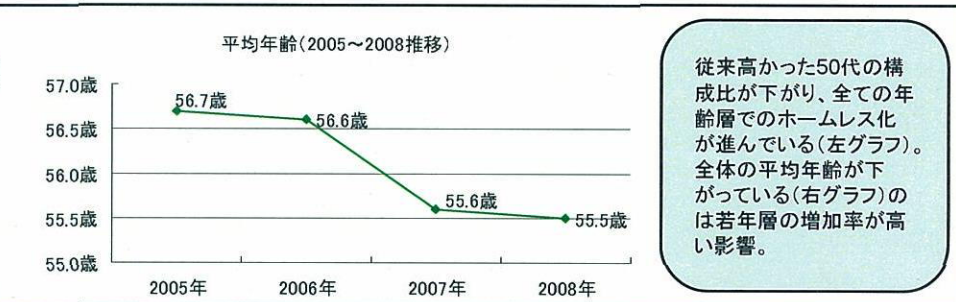
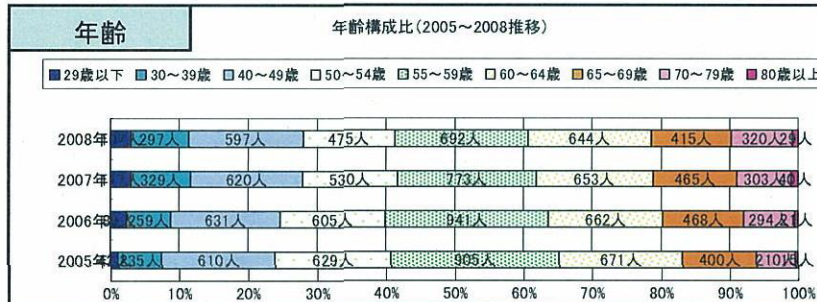
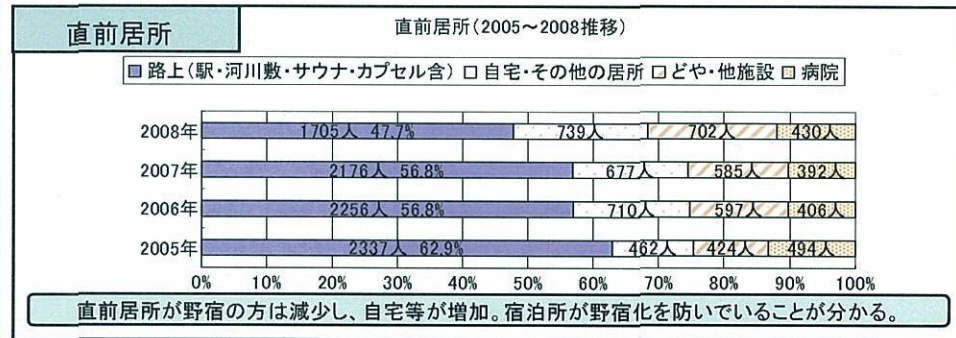
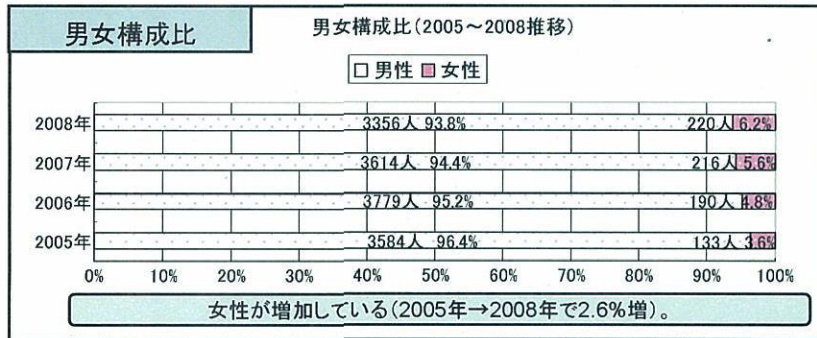


○無料低額宿泊所からみえる「生活困窮者問題の現状」と「宿泊所の役割・成果・課題」に関する報告

1. 生活困窮者(新規利用者)の動向 ～変化しているホームレス状態に陥る背景～

根拠データ：SSS利用者入口段階調査(2005年:3717人、2006年:3969人、2007年:3830人、2008年:3576人)



<要約・補足>

- ・ホームレス状態に陥り宿泊所を利用する背景は、性別、年齢、職種すべてにおいて多様化が進んでいる。
- ・宿泊所をはじめとするセーフティーネットが早い段階で機能していることで「見えるホームレス」は減少したが(H15年全国調査2.5万人→H19年全国調査1.8万人)、依然として新たにホームレス状態となる方は多く、昨年は増加している可能性が高い。